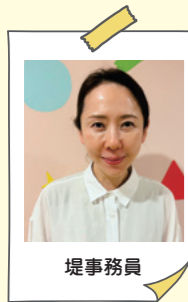


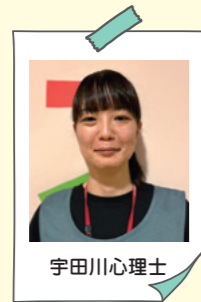
新人職員紹介

今年度、新に12名の常勤スタッフがチームに加わりました。
どうぞよろしくお願いたします。



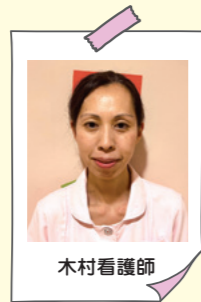
堤事務員

思いやりを持って、誠実に仕事に取り組みます。



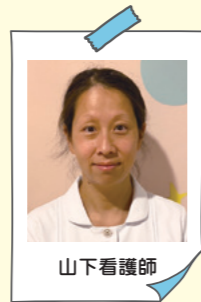
宇田川心理士

お子さんの成長を養育者の皆さんと共有できるようにしたいです。



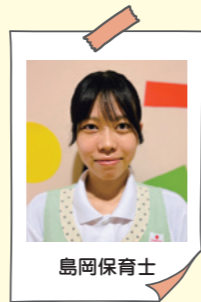
木村看護師

看護師として、子ども達が毎日元気に過ごせるよう、頑張ります。



山下看護師

子どもたちが安心して楽しい日々を過ごせるよう頑張ります。



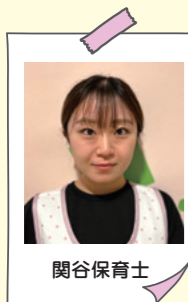
島岡保育士

子どもの気持ちに寄り添う保育士になれるよう頑張ります。



後藤保育士

子ども達の個性を尊重して関われる保育士になりたいです。



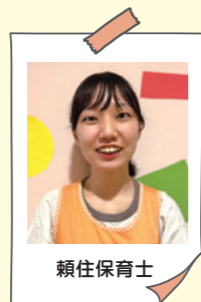
関谷保育士

子どもたちと一緒に成長していければと思います。頑張ります！



坂保育士

子どもたちと笑顔いっぱいの毎日を送りたいです！



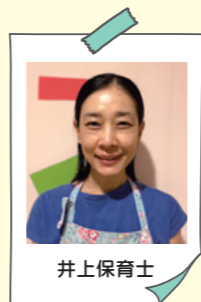
頼住保育士

新しい環境ですが子どもにパワーを貰いながら頑張ります！



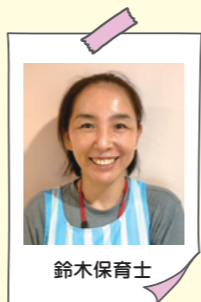
阿久津保育士

子どもと一緒に様々な経験をして成長していけるよう頑張ります！



井上保育士

子どもたちと一緒に、毎日楽しみながら見守ってまいります。



鈴木保育士

みんな幸せな人生を送れますように。そんな願いを込めて頑張ります！

編集後記

10月号発行！に向けて編集を行っている今は8月。夏の真っ盛りです。今年はまた暑かったですね。おさんぽや公園遊びは涼くなるまで休憩で、今はもっぱら水遊びを楽しんでいる日赤乳児院の子どもたちです。だいたいの子が水遊び大好きです。水遊びでたくさん体力を使うのか、その後はぐっすり深くお昼寝できることが多いです。たくさん遊んで、たくさん食べて、すやすや眠る子どもたち。そんな風に健やかな子どもの姿を見ると、私たちスタッフはとても幸せな気持ちになります。そんな日々の子どもたちの姿や、スタッフの取り組みについて今後より園だよりを充実させることで、皆さまに知っていただきたいと考えております。これからもどうぞよろしくお願いたします。

日赤医療センター附属乳児院 園だより



元気いっぱい!!

2024
10月号
No.66

施設長ごあいさつ

院長 芝 太郎

まだまだ暑さが続く中、日赤医療センター附属乳児院のこどもたちは、暑さ対策に気を付けながらも、笑顔いっぱい過ごしています。水遊びが大好きなこどもたちは、水しぶきを浴びながら元気に遊び、大人たちにとっても暑さを忘れるほどの楽しさを感じさせてくれます。こどもたちの無邪気な笑顔を見ると、職員一同、暑さ負けず、より一層頑張ろうという気持ちが湧いてきます。このお便りが皆さんのお手元に届くころには暑さも和らいでいるでしょうか。

今年の夏は全国的に手足口病が流行し、乳児院のこどもたちも少なからず影響を受けました。感染症を完全に防ぐことは難しいですが、こどもたちが少しでも罹患しないように、もし罹患してしまった場合でも症状を軽くし、早期に回復できるよう、職員一同が一丸となってケアに取り組んでいます。感染症予防のための衛生管理や健康観察を徹底し、こどもたちの健康を守るための取り組みを強化しています。

そのような中でも日赤医療センター附属乳児院では、日々こどもたちの生活をより豊かにするための活動を工夫しています。

例えばその一つが、コロナ禍で中止していた食育活動の再開です。食育とは、こどもたちが普段食べている食材に触れたり、調理を体験することで、食べ物についての興味や理解を深める活動です。例えば、こどもたちは野菜を自分で切ったり、触ったりすることで、食べ物に対する関心が高まり、苦手な食材にも挑戦するようになります。このような経験を通して、こどもたちは食べることの楽しさや、食べ物の大切さを学んでいます。中には「厨房ツアー」と銘打って厨房を訪れ、普段食べている料理がどのように作られているかを見学する企画もあります。

さらに、こどもたちがより安心して過ごせるように、ケア体制の改善も進めています。特に夜間のスタッフを増員し、こどもたちが夜間に体調を崩すようなときも今までよりも手厚く対応できるようになっています。

その他にも、こどもたちの発達を支援するための「療育」にも力を入れています。療育とは、こどもたちが自分のペースで成長できるように、専門的な支援を行うことです。外部の療育機関の力を借りてこどもたちが日々の中で、楽しく成長できるような取り組みを行っています。

ご紹介したのは取り組みの一部ですが、日赤医療センター附属乳児院は、こどもたちや保護者の方々、そして地域の方々にとってより良い場所であるために、日々活動の見直しと修正を行うことを意識しています。

これからも、もっとこどもたちの気持ちに寄り添えるよう、もっとより良い施設となれるように変化していけたらと考えています。

今後とも、みなさんのご理解とご支援をいただくと幸いです。

理念

わたしたちは、困っている子どもとその家族を助けたいという思いを集結し、
どんなときでも子どものいのちと健康、尊厳を守ります。

 日本赤十字社医療センター 附属乳児院
Japanese Red Cross Medical Center

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-1 TEL:03-3400-0147
<http://www.med.jrc.or.jp/relation/tabid/385/Default.aspx>



リトミックスカーフで遊んでいます。



大きな布の動きに、子どもたちの目は釘付けでした。



音楽遊びを楽しんでいます。保育者の歌に合わせて鈴とマラカスを鳴らしました。



「糸まきまき」「あたま・かた・ひざポン」の手遊びをたのしんでいます♪



ハイハイから歩くようになってきたお友達がいたり、たったか走れるようになったお友達がいたり、いろいろなお友達がいるぱんだ室です。小さく切ったチューブをケースに入れる遊びを集中してやっていましたが、大きささまざまなチューブを見て、チューブ同士を繋ぐ遊びを子ども自身が考え出しました!子どもたちの遊びの発想には驚きです。



ずりばいからたっちができる子まで、個性豊かなうさぎさんのお友達です!最近シャボン玉にはまっていて、お散歩の時に外で保育者がシャボン玉を吹くととても嬉しそうなお友達を見せてくれます。



手を伸ばしてシャボン玉をキャッチ!できるかな?

お部屋紹介



大好きなお友達と水遊び!

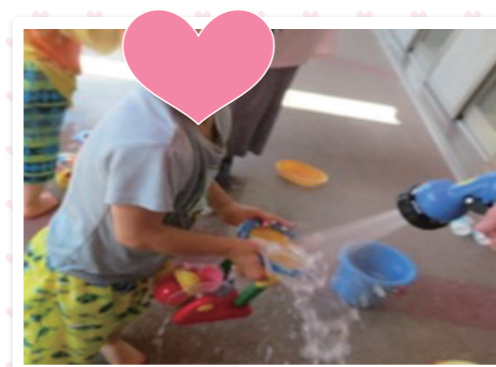


お絵描き上手にできるよ!

元気いっぱいなきりん室のお友達です!成長と共に様々なことへ興味を示すようになり毎日楽しく過ごしています。中でも手先を使った遊びが大好きで塗り絵やシール貼りなどじっくり集中して遊ぶ姿が見られます。7月からは水遊びも始まりベランダでプールに入ったり、絵の具遊びをしたりしています。お友達と一緒に遊ぶことの楽しさが分かるようになり「かして」「いいよ」のような子どもたち同士の可愛いコミュニケーションも聞かれるようになりました。



年齢差の大きく、個性豊かな子どもたちが揃っているぞう室ですが、最近の流行は「お友達と一緒に遊ぶ」です。一人の子が歌いながら手遊びを始めると一緒にやりだしたり、おままごとなども保育者を介さずやり取りをしていることが多くなりました。そんな子どもたちの会話を聞いていると「大人の会話をよく聞いてるな～」と感じます。「大丈夫?」「かわいいね～」など、優しい声で話しかけている姿は何とも微笑ましい光景です。



ブロック上手にできるよ!

元気いっぱいらいおんのお友達です!成長とともに様々な玩具に興味を示して遊んでいます。中でも積み重ねる・並べるなどの遊びを好んでおり、ブロックを高く積み重ねるのがみんなとても上手です!7月からは水遊びも始まり子どもたちは大はしゃぎで楽しんでいました。らいおんのお友達はみんな食べるのが大好きで毎日ご飯をもりもり食べています!スプーン・フォークも少しずつ上手に使えるようになってきました。これからの成長がさらに楽しみです!